

部局名	子ども部	所属名	子育て支援課	所属長名	野口 啓子	電話	483-1151 内線2270
-----	------	-----	--------	------	-------	----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要 (PLAN)

コード	3160	事務事業名称	すてっぷ21事業				短縮コード	経常	3160	臨時	4032	
予算区分	会計	01	一般会計	款	03	民生費	項	02	児童福祉費	目	01	児童福祉総務費
区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> その他		根拠法令等	八千代市子ども支援センターすてっぷ21の設置及び管理に関する条例 八千代市家庭相談室設置運営要綱								
事業概要 (事務事業を開始したきっかけを含めて記入)												
少子化, 都市化, 核家族化などに伴い子育て中の親の孤立化, 不安や悩みが増大し, 子育て中の親のつどえる場として市民からの要望により平成6年度にすてっぷ21を設置し, 平成18年4月に子ども支援センターすてっぷ21に名称変更した。19年度地域子育て支援センターとして位置付けられたことにより, 10月から利用年齢の対象を0歳から就学前までに変更した。												
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱(章)	01	健康福祉都市をめざして					
利用者が年々増大、育児不安や子どもの虐待など子ども養育機能・養育環境が多種多様に変化をもたらしている。18年4月から地域子育て支援ネットワーク事業を開始、19年4月にはすてっぷ21が「地域子育て支援センター」に位置付けられ、利用対象も0歳から就学前児童までに拡大された。平成17年には、同所を利用し、中高校生のための居場所づくり事業を実施。					大項目(節)	02	社会福祉					
					中項目	01	児童福祉					
					小項目(施策)	03	地域子育て支援体制の充実					
					細項目	01	地域ぐるみ支援体制の充実					
						02	子育てに関する相談、情報提供体制の整備					
								実施計画の計画事業				
計画事業の位置付けの有無				<input type="checkbox"/>	計画事業期間	～		計画事業費	千円			

2. 事務事業の目的・指標・実績 (DO)

対象 (誰を何を対象にしているのか)	0歳から就学前児童及びその保護者 (以前は3歳に達した日以後の最初の3月31日までの間にある乳幼児及びその保護者となっていたが、平成19年10月から対象年齢を拡大した)						
手段 (具体的な事務事業のやり方、手順、詳細)	※平成21年度に実際に行ったこと: ①親と子の遊びと交流の広場(対象年齢の拡大) ②妊娠期から幼児期の安心サポート(母子健康手帳交付、マタニティ広場、4・10か月赤ちゃん広場、家庭訪問) ③安心して子育てができる街づくり、情報交換会の実施 ※平成22年度に計画していること: 21年度と同様に、妊娠から出産・子育てに至るまで一貫した子育て支援を実施し、事業の充実を図る。親学習事業の実施。						
意図 (何を狙っているのか)	①安心して遊べる場の提供②孤独な子育てにならないように、仲間づくりを援助する③身近な情報や学びの機会を提供して、安心して子育てができるようにする④地域で子育てを見守れる子育て支援のネットワーク化を促進する						
ねらい(上位施策の意図)	入力対象外						
区分	指標	内容	単位	20年度 実績	21年度 計画	22年度 実績	22年度 計画
対象指標	指標1	0～就学前までの子どもの保護者数	数	11,610	11,610	11,674	11,616
	指標2						
	指標3						
活動指標	指標1	開館日数	日	244	247	243	244
	指標2	遊びと交流の広場利用者実人数	人	4,036	4,036	4,034	4,034
	指標3						
成果指標	指標1	子育て期にある親子の施設の利用率	%	34.8	34.8	34.5	34.5
	指標2						
	指標3						
上位成果指標	指標1						
	指標2						
	指標3						

コード	3160	事務事業名称	すてっぷ21事業			所属名	子育て支援課
	単位	20年度		21年度		22年度	
		実績	計画	実績	計画	実績	計画
事業費(A)	財源内訳	国	千円	433	526	556	0
		県	千円	324			
		地方債	千円				
		一般財源	千円	7,282	8,006	7,222	7,714
		その他	千円			14	
主な事業費の内訳			賃金3,822千円他	賃金4,205千円他	賃金3,999千円他	賃金3,910千円他	
人件費(B)		千円	63,707	62,967.4	70,743.2	70,743.2	
トータルコスト(A)+(B)		千円	71,746	71,499.4	78,535.2	78,457.2	

3. 事務事業の評価(SEE)

評価類型	評価事項	評価区分	理由			
目的妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 結び付いている	上位の施策「市民の参画と他機関連携による子育て支援ネットワークの充実」を推進していくためにすてっぷ21事業を実施している。			
		<input type="checkbox"/> 結び付くが見直しの余地がある				
		<input type="checkbox"/> 結びつきが弱い・ない				
		<input type="checkbox"/> 評価対象外事項				
目的妥当性	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。	<input type="checkbox"/> 達成している	・地域の子育て支援の拠点として、地域子育て支援ネットワークの構築及び、社会的状況の変化に伴う市民ニーズの把握とその実現に向けていくことが、常に求められている。地域の子育て支援を推進していくための施設「子育て支援センター」として、妊娠期から乳幼時期の切れ目のない支援事業と安心して子育てができる地域づくりを目指し、更なる充実が求められている。			
		<input checked="" type="checkbox"/> 達成していない				
		<input type="checkbox"/> 評価対象外事項				
目的妥当性	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 (民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。)	<input type="checkbox"/> 可能性はある	地域子育て支援センターでは乳幼時期の子育て家庭を対象に子育てワークショップ「おしゃべり広場」・地域の子育てに関わる団体との協働「みんなで食育」地域情報交換会・ジュニアなかよしボランティア・中高生の居場所づくり「フリーパレット」など八千代市地域子育て支援ネットワーク事業を担う拠点としての役割を果たしていくため民営化の可能性はない。			
		<input checked="" type="checkbox"/> 可能性はない				
		<input type="checkbox"/> 評価対象外事項				
目的妥当性	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のままでよい	・子育て中の母親達に向けての子育ての実態調査から、不安の強い時期は、出産前後が最も多く、3歳までが多い。親子関係の基盤としても3歳までの支援を充実していくことが重要である。養育支援の必要な家庭への支援と虐待の未然防止・家庭訪問 親学習事業の実施(食育・子育てワークショップ「おしゃべり広場」子育てで大切なことを伝える「子育て応援ポケット」)			
		<input type="checkbox"/> 見直す必要がある				
		<input type="checkbox"/> 評価対象外事項				
有効性・効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤-2, 3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。	<input type="checkbox"/> 有効性向上の可能性はある	昨年と変更なし事業の充実を図る。			
		<input type="checkbox"/> 効率性向上の可能性はある				
		<input type="checkbox"/> 両方可能性はある				
		<input checked="" type="checkbox"/> 可能性がない				
	⑤-2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	<input type="checkbox"/> 民間委託等	類似事務事業名称	1		実施主体(所管部署)
		<input type="checkbox"/> 臨時的任用職員等の活用				
⑤-3 推進にあたっての課題はあるか？(一時的な経費増・市民の理解等)	<input type="checkbox"/> I T化等の業務プロセスの見直し	2			実施主体(所管部署)	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し					
⑤-3 推進にあたっての課題はあるか？(一時的な経費増・市民の理解等)	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合・役割見直し					
	<input type="checkbox"/> 上記以外の方法					
⑤-3 推進にあたっての課題はあるか？(一時的な経費増・市民の理解等)	<input type="checkbox"/> ある					
	<input type="checkbox"/> ない					

コード	3160	事務事業名称	すてっぷ21事業			所属名	子育て支援課																						
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。		<input type="checkbox"/> 改革・改善して継続 <input type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input type="checkbox"/> その他			子ども支援センターすてっぷ21事業内容を毎年評価検証し事業報告書を作成、それに基づき活動計画を作成し実施していく。																							
			<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 事業完了 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続																										
		⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">経費</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>不変</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>不変</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </tbody> </table>					経費			削減	不変	増加	成果	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	不変	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	各種事業、母子健康手帳の交付・マタニティ広場・4か月児、10か月児赤ちゃん広場・家庭訪問・親学習支援事業、食育・子育てワークショップ「おしゃべり広場」等とともにすてっぷ21勝田台は駐車場があることから全域対象の「遊びと交流のひろば」の利用者をふやしていく。中高生が放課後や休日に気軽に集うことができ主体的に好きな事が自由にできる中高生の居場所「フリーパレット」を勝田台地域から大和田地域に移転したことにより利用者が増加、利用日の増加の検討やスタッフの力量をつける。大学との協働で東京成徳大学福祉心理学科の学生が「地域ボランティア演習」として土曜日3時間ボランティアをしている。今後も大学との協働を継続する	
		経費																											
		削減	不変	増加																									
成果	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																									
	不変	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																									
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																									

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
<p>・すてっぷ21（遊びと交流のひろば）をバギーでいける範囲に設置。・すてっぷ21の利用対象年齢後、18歳までの子どもの安心できる居場所の設置。・子育て支援の地域ネットワークの促進</p> <p>・社会状況の変化（虐待の増加）や児童福祉法、虐待防止法の改正に伴い相談機能の拡充。ボランティアの積極的な参加や土日の開所による父親同士の交流の推進などさらに地域子育て支援センターの充実。フリーパレットの活動内容が保護者や地域にわかるような周知方法についての検討。中高生のサポートを行うボランティアである大学生の協力。</p>	

所属長コメント	19年度に地域子育て支援センターに位置づけられたことに伴い、利用対象年齢を拡大した。（3歳までを小学校就学前までに）今までのすてっぷ21事業と拠点施設としてますます機能の充実がもたられていると考える。	
評価調整委員会評価	<input type="checkbox"/> 改革改善して継続 <input type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 事業完了 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	担当課の評価のとおり、現状のまま継続とする。